

基盤教育の方針

学位授与方針

■ 知識・理解

- 人間と「自然・環境」「思想・文化」「地域社会」「国際社会」「歴史」との関係性の総合的な理解、環境問題に関する正しい知識など、21世紀の市民として必要な教養を身につけている。【総合的知識・理解】

■ 技能

- 情報社会における情報及び情報システム、インターネットの特性を理解し、それらを活用する技能を身につけている。【情報活用能力】
- 自然現象や社会的事象に関する量的調査の基本的な考え方と分析技法を身につけている。【数量的スキル】
- 英語（読む、書く、聞く、話す）を用いて、日常生活のニーズを充足することができる。【英語力】

■ 思考・判断・表現

- 人間理解に必要とされる、既成概念の根本的な省察、総合的な考察をもとに、直面する課題を発見し、自立的に解決策を考えることができる。【課題発見・分析・解決力】

■ 関心・意欲・態度

- 自分自身で心身の健康の保持増進を行うことができる。【自己管理能力1】
- 「人間全般」や自分自身についての省察を深め、自らの持つ可能性を見出し、将来のキャリア構築に向けて積極的・主体的に準備行動ができる。【自己管理能力2】
- 人間の総合的な理解を通して得られた責任感、倫理観を自覚し、その深い理解をもって帰属する社会において積極的に行動できる。【市民としての社会的責任・倫理観】
- 各自が帰属する社会における課題を自ら発見し、解決のための学びを継続することができる。【生涯学習力】
- 相互理解を深めるコミュニケーションを通じて、他者の協調を得ながら、共により良い社会を形成することができる。【コミュニケーション力】

教育課程編成・実施方針

基盤教育の目標を達成するため、以下の方針に基づき、教育課程を編成し実施する。

「基盤教育科目」は、卒業後の生き方や社会での活躍を支える人間性・主体性・社会性の育成を目的として、「教養教育科目」と「外国語教育科目」で構成する。各科目群の内容は以下のとおりとする。

■ 教養教育科目

大学生として相応しい知的生活を送るための教養を身に付けること、そして基礎教育から専門教育への円滑な移行をはかることを目的として、「人文・社会科目」と「環境科目」で構成する。各科目の内容は以下のとおりとする。

□ 人文・社会科目

人文・社会科学に関する理論と事例学習を通じ、人と社会について体系立てて理解し、主体的に思考するための基礎となる知識を提供する科目群とする。また、エンジニアを含めた職業人との交流や具体的な事例学習を通じて、社会の仕組みを理解するための基礎知識も提供する。16単位以上を修得する。

尚、1年次配当科目のうち、入門ゼミ、心と体の健康学、経済入門Ⅰ、職業と人生設計、3年次配当科目のうち工学倫理が必修科目である。また選択必修科目として、1年次1学期に北方キャンパスで開講される科目のうち1科目2単位以上を修得する必要がある。

□ 環境科目

地球規模に拡大した環境問題の基礎知識の習得を目的とした科目群である。配置する科目を通して、習得した知識の検証、活用などをはじめとして、いわゆる「社会人基礎力」として必要なチームワークやコミュニケーションに関する実践的な活動の仕方を学習する。さらに、知識についても、科学的知識だけでなく、市民や行政の観点から収集された知識、企業活動において必要な環境問題に関する知識など幅広く学習する。

1年次配当科目のうち、環境問題特別講義、環境問題事例研究が必修科目である。8単位以上を修得する。

■ 外国語教育科目

自分の専門分野において異なる文化的背景を持った人々と英語を用いたコミュニケーション活動ができるよう、内

容・コミュニケーション形態を重視した授業を通して、英語の四技能を向上させる科目群とする。

1年次に、英語のリスニング・リーディングを指導する英語Ⅰ・Ⅱ、英語を用いた基本的なプレゼンテーションができる教育を行うプレゼンテーションⅠ・Ⅱを配置し、4単位を修得する。英語Ⅰ・ⅡとプレゼンテーションⅠは、日本語を第一言語とする教員が中心に担当し、プレゼンテーションⅡは、英語を第一言語とする教員が担当する。

2年次に、選択科目群Aと選択科目群Bを配置する。

選択科目群Aは、TOEIC 470点相当以上の英語力が身に付いた学生に対して、科学技術英語Ⅰ・Ⅱを通して専門分野への橋渡しとなる教育を行う一方で、そのレベルに到達していない学生に対してはTOEICを素材とした教育を行う科目群である。2単位以上を修得する。

選択科目群Bは、学生の英語力のみならず興味の対象や卒業後の進路に応じて、英語学習を行う科目群である。2単位以上を修得する。

また、上記のほか、学習意欲の高い学生に対応するため、TOEIC基礎・応用、Intensive English Courseを1年次に、さらにより高度な英語力を身につけるAcademic Writing、Topic Studies A/B/C/Dを3年次に配置する。